

# 教科横断型授業学習指導案

日 時 令和 4年 5月 6日 (金) 第2校時  
福井県立武生高等学校 探究進学科 1年1組  
指導者 教諭 杉坂卓哉 (地理)・室井浩貴 (世界史)

## 1 単元名

1 8世紀のヨーロッパとアジア (東京書籍)

## 2 本時の指導目標

チョコレートの歴史をテーマに、17世紀以降に成立した経済体制について世界史と地理の両科目の視点から理解し、現在にまで残る社会問題との関係性について考察する。

## 3 単元について

【歴史総合】大西洋三角貿易の成立とヨーロッパとアジアの経済的一体化について理解する。

【地理】プランテーションや商品作物についての基礎的な知識を理解し、南北問題やモノカルチャー経済などの現代的問題が成立した経緯について考察する。

【歴史総合×地理】三角貿易や奴隷貿易が現代に与えた経済的・社会的な変化について、歴史と地理の視点から考察し、自分の意見を表現する。

## 4 本時の展開 (55分授業)

指導過程	生徒の学習活動	指導上の留意点など	主な評価の観点
<u>歴史総合分野 (10分)</u> ・カカオや砂糖の歴史について説明する	・中学校での知識を復習しながら、中南米でのカカオの歴史やアジア原産の砂糖がヨーロッパに流入し、ショコラトルの製法が確立することを知る。		観察
<u>歴史総合×地理 (40分)</u> ・大西洋三角貿易について確認する  ・チョコレートが現代のような形になったことを説明する	・中学校での学びを思い出しながら、大西洋三角貿易について理解する。奴隷貿易で輸出され、プランテーションの労働力となった黒人奴隷についても深く理解する。  ・チョコレートが戦争時に非常食とされたことや明治維新期には薬とされていたことを理解する。	杉坂先生からも、地理の視点からプランテーションについて説明してもらおう。砂糖と同じように生産された別の商品作物についても考えさせる。 生徒の興味・関心を引くために、当時の広告を示す。	

<p>・資料を読解させ、大西洋三角貿易の影響について考察させる</p>	<p>・資料読解をしつつ、3つの問いに答える。</p> <p><b>問い1</b> 「主な国の輸出品目、および輸出品全体に占める割合」から現在の中南米と西欧の主要輸出品にはそれぞれどのような特徴あるか記述する。</p> <p><b>問い2</b> 奴隷供給方法に関する文章について読み取り、それが現代のアフリカ社会にどのように影響を与えたのかを考察する。</p> <p><b>問い3</b> アフリカの人口グラフを見て、奴隷貿易がアフリカに与えた影響を考察する。</p>	<p>歴史総合の教科担任である室井がファシリテーション役を担当し、生徒の意見を取り上げつつ、杉坂先生に地理的な視点から解説をしてもらう。</p> <p>特に、モノカルチャー経済や南北問題、児童労働、民族紛争について地理的な視点から説明をする。公民的な分野にも話をつなげる。(例) フェアトレード</p>	<p>授業プリントの取り組み</p>
<p><u>歴史総合分野</u> (5分)</p> <p>・レスポンスシートの記入させる</p>	<p>・レスポンスシートに本時の感想や本時の学び、授業の中で新たに生まれた「問い」を記入する。</p>		<p>レスポンスシート</p>

## 5 反省

- ・歴史と地理がお互いに補完し合う形で、1つのテーマを深堀することができた。
- ・地理分野の穴埋めを予め用意しておく、地理の説明の際に生徒が手を動かすことができた。

### 生徒感想

- ・カカオを歴史的視点と地理的視点の両方から見ることによって、知識が増え、深く考えることができた。
- ・大西洋三角貿易の中でアフリカから黒人奴隷が送られ、それによって紛争が後押しされたり、人口停滞が起きたりなど、アフリカにも影響を与えていることが分かった。

### 授業での問い・資料

問い1 「主な国の輸出品目、および輸出品全体に占める割合」から、現在の中南米と西欧の主要輸出品にはそれぞれどのような特徴があるか記述しよう。

「主な国の輸出品目、および輸出品全体に占める割合」(出典:「地理統計」2020年)

#### (中南米)

キューバ	
1位	金属鉱とくず 31.3
2位	化学工芸品 13
3位	たばこ 12.9
4位	砂糖 10.8

グアテマラ	
1位	野菜と果実 15.6
2位	衣類 10.9
3位	香辛料 9.8
4位	砂糖 5.6

#### (西欧)

イギリス	
1位	機械類 21.8
2位	自動車 8.7
3位	医薬品 6.8
4位	金(非貨幣用) 5.5

フランス	
1位	機械類 19.3
2位	自動車 8.7
3位	医薬品 7.9
4位	航空機 5.9

問い2 次の資料を読み、当時の奴隷の供給の仕方について読み取り、それが現代のアフリカ社会にどのように影響を与えたのかを考察しよう。 資料『沈没船が明らかにする奴隷貿易の変遷』

【資料】ヨーロッパの奴隷貿易戦略は、冷酷なものだった。商人はまず、一部のアフリカ人を味方につけ、銃と火薬を与えて部族闘争を強化させる。その間にアフリカ人仲介人を敵国に送り込み、奴隷を捕らえさせる。捕らえられた奴隷は沿岸まで連行され、ヨーロッパの奴隷商人に売りさばかれるという仕組みだ。

しかし、この仕組みが永遠に続くことはなかった。奴隷貿易は18世紀になっても続いていたが、南北アメリカで生産される商品の需要はとどまることがなかった。砂糖の生産は大成功につながり、大金をつかめる仕事だったため、アフリカ人奴隷の需要も高まる一方だった。需要増への対応に苦しんだアフリカ人仲介人は、ヨーロッパで重宝される労働力を求めて、内陸部まで進むことを余儀なくされた。

Q3 下のグラフを見て奴隷貿易がアフリカに与えた影響を考察しよう。

